

平成27年度 焼却施設の維持管理に関する記録

クリーンセンターまにわ

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物、不燃ごみ破碎処理残渣)													
区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
1号炉	焼却量	t	289.4	255.2	143.5	258.6	12.2	298.2	97.2	305.3	351.6	68.3	66.9	0.0	2,146.5
2号炉	焼却量	t	116.2	108.4	253.6	176.1	310.1	99.3	306.2	14.4	86.0	303.7	305.2	343.3	2,422.3
合計焼却量		t	405.6	363.6	397.1	434.7	322.4	397.5	403.4	319.7	437.6	372.0	372.1	343.3	4,568.8

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	
燃焼室中燃焼ガス温度*1	1号炉	°C	800°C以上	977	950	947	946	964	938	933	946	949	929	934	-	946.6
	2号炉	°C	800°C以上	967	952	954	936	943	933	937	941	923	916	919	920	936.8
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉	°C	200°C以下	179	170	169	169	172	168	167	168	168	168	169	-	169.7
	2号炉	°C	200°C以下	175	172	169	168	165	168	167	168	169	169	169	169	169.0
排ガス中一酸化炭素濃度*3	1号炉	ppm	30ppm以下	3	2	3	1	3	1	0	1	1	1	1	-	1.5
	2号炉	ppm	30ppm以下	4	3	2	1	1	1	1	0	1	1	2	3	1.7
備考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値														

測定位置：\*1燃焼室出口 \*2集塵機入口 \*3集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

ppm(パー・ツ・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	平成28年1月17日	平成27年12月14日
排ガス処理設備(集塵機)	平成28年1月21日	平成27年11月16日

4 排ガス中のダイオキシン類の濃度(1回/年以上測定)

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成27年7月29日	平成27年7月30日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成27年9月10日	平成27年9月10日
ダイオキシン類濃度	5	0.1	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.000059	0.000061

採取位置：集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号

m<sup>3</sup>N(立方メートルノルマル)…気温0°C、気圧が1気圧の状態と換算した気体の体積

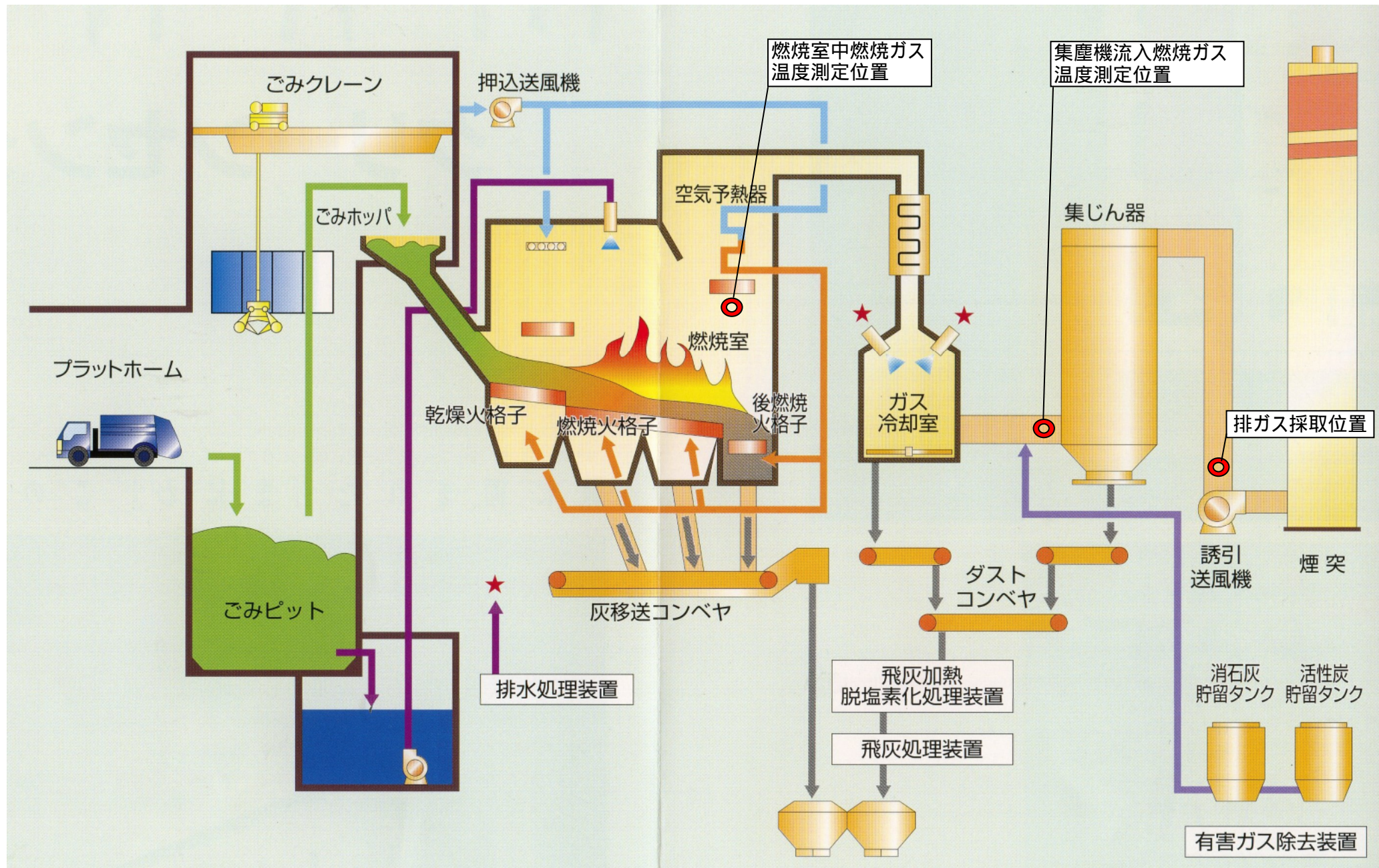
5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回/6ヶ月以上測定)

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉		2号炉	
				1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成27年7月9日	平成28年1月6日	平成27年7月9日	平成28年1月6日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成27年7月23日	平成28年1月27日	平成27年7月23日	平成28年1月27日
ばい煙濃度	0.15	0.01	g/m <sup>3</sup> N	0.006	0.001	0.008	0.001
硫黄酸化物の量	K値17.5	50※	ppm	1未満	1	1未満	1
窒素酸化物濃度	—	150	ppm	85	62	78	64
塩化水素濃度	700	100	mg/m <sup>3</sup> N	41	22	17	9

採取位置：集塵機出口 別紙「クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

※硫黄酸化物の基準値は、K値規制(地域規制)が総量規制のため、排出ガス温度、排出ガス量及び排出ガス流速により変化するため、管理基準値にはppm(濃度)を用いる。

クリーンセンターまにわ焼却施設維持管理状況測定場所



平成27年度 焼却施設の維持管理に関する記録

真庭北部クリーンセンター

1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物)													
区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
1号炉	焼却量 t	121.9	91.9	136.7	100.0	131.6	103.3	161.8	143.4	100.3	148.3	163.6	98.5	1,501.3	
2号炉	焼却量 t	78.6	112.1	57.4	115.6	112.2	113.6	41.9	76.0	103.3	39.2	9.0	112.9	971.8	
合計焼却量 t		200.5	204.0	194.1	215.6	243.8	216.9	203.7	219.4	203.6	187.5	172.6	211.4	2,473.1	

2 燃焼室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値
燃焼室中燃焼ガス温度*1	1号炉 °C	800°C以上	908	900	904	894	883	909	906	906	903	887	900	911	900.9
	2号炉 °C		912	914	907	915	908	928	890	909	905	882	905	907	906.8
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉 °C	200°C以下	180	181	180	180	180	181	180	180	180	180	180	180	180.2
	2号炉 °C		182	182	182	180	180	181	181	182	182	182	182	181	181.4
排ガス中一酸化炭素濃度*3	1号炉 ppm	30ppm以下	5	6	1	1	3	3	2	2	3	4	3	4	3.1
	2号炉 ppm		4	2	2	1	3	3	3	1	1	1	3	3	2.3
備考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値													

測定位置：\*1燃焼室出口 \*2集塵機入口 \*3集塵機出口 別紙「真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

ppm(パーツ・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	平成27年6月29日	平成27年6月29日
排ガス処理設備(集塵機)	平成27年6月30日	平成27年6月30日

4 排ガス中のダイオキシン類の濃度(1回/年以上測定)

区分	法定基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日	/	/	平成27年10月6日	平成27年10月6日
結果の得られた年月日	/	/	平成27年11月10日	平成27年11月10日
ダイオキシン類濃度	10	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.012	0.0095

採取位置：集塵機出口 別紙「真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号m<sup>3</sup>N(立方メートルノルマル)…気温0°C、気圧が1気圧の状態での換算した気体の体積

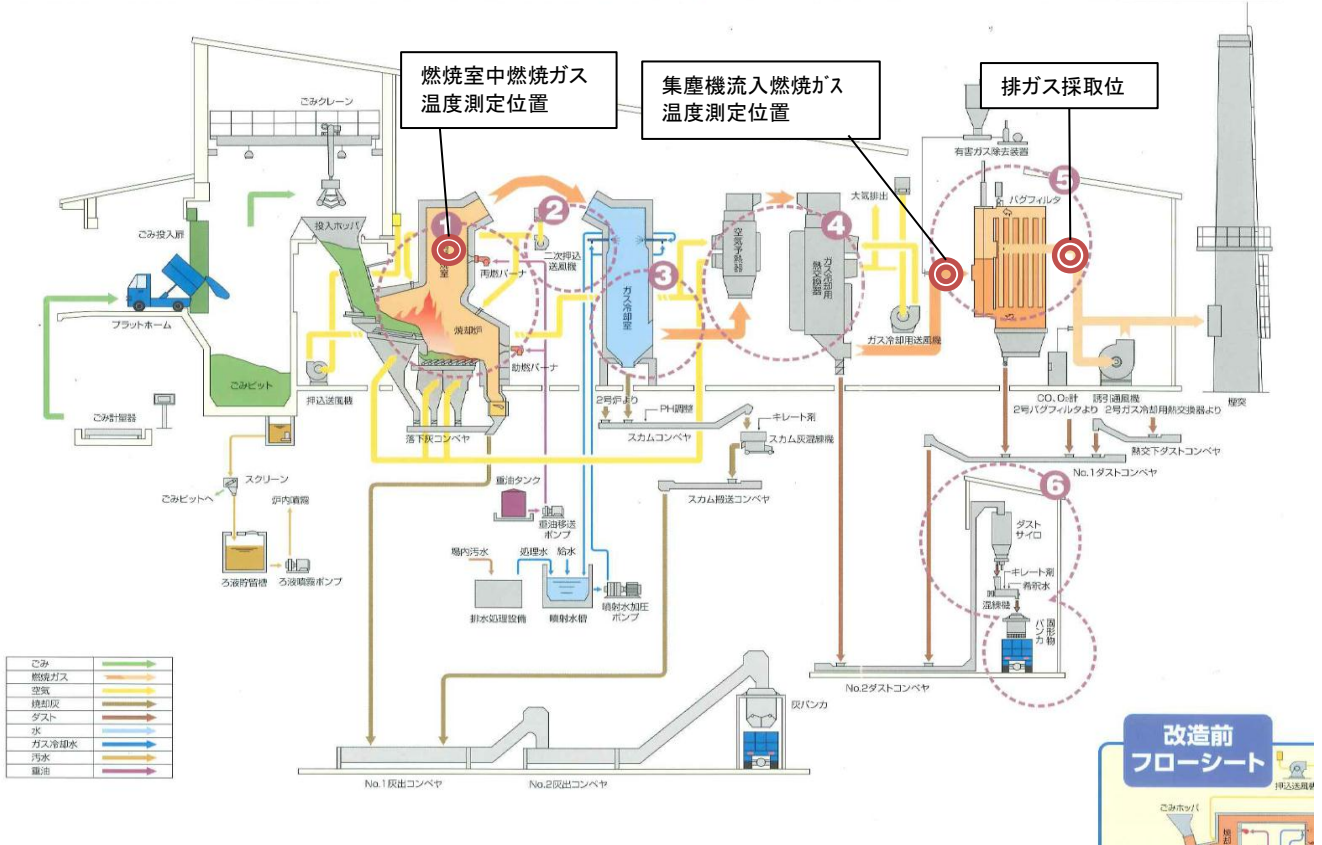
5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回/6ヶ月以上測定)

区分	法定基準値	単位	1号炉		2号炉	
			1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日	/	/	平成27年5月22日	平成27年10月6日	平成27年5月22日	平成27年10月6日
結果の得られた年月日	/	/	平成27年6月22日	平成27年11月10日	平成27年6月22日	平成27年11月10日
ばい煙濃度	0.25	g/m <sup>3</sup> N	0.0023	0.002	0.002	0.002
硫黄酸化物の量	K値17.5	m <sup>3</sup> N/h	<0.0033	0.12	0.0034	0.089
窒素酸化物濃度	250	ppm	69	95	48	130
塩化水素濃度	700	mg/m <sup>3</sup> N	<0.8	35	1.5	180

採取位置：集塵機出口 別紙「真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

※硫黄酸化物の基準値は、K値規制(地域規制)が総量規制のため、排出ガス温度、排出ガス量及び排出ガス流速により変化するため、管理基準値にはppm(濃度)を用いる。

真庭北部クリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所



# 平成27年度 焼却施設の維持管理に関する記録

コスモスクリーンセンター

## 1 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

種類		可燃ごみ(家庭系一般廃棄物及び事業系一般廃棄物、不燃ごみ破碎処理残渣)													
区分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
1号炉	焼却量	t	202.3	201.6	223.1	226.1	193.3	185.9	201.8	175.0	232.0	191.9	173.4	193.8	2,400.2
2号炉	焼却量	t	191.8	189.1	188.1	208.3	241.5	215.1	221.1	171.2	238.3	187.6	182.6	205.6	2,440.3
合計焼却量		t	394.1	390.7	411.2	434.1	434.8	401.0	422.9	346.2	470.3	379.5	356.0	399.4	4,840.5

## 2 焼却室中の燃焼ガスの温度、集塵機に流入する燃焼ガスの温度、煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度

区分	単位	管理基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値	
焼却室中燃焼ガス温度*1	1号炉	°C	800°C	946	946	942	938	930	946	940	935	938	938	934	931	938.7
	2号炉	°C	以上	936	935	941	929	932	937	934	910	898	898	920	935	925.4
集塵機流入燃焼ガス温度*2	1号炉	°C	200°C	186	190	190	189	190	180	180	184	179	180	182	180	184.2
	2号炉	°C	以下	190	189	190	189	189	185	179	179	179	180	180	180	184.1
2	1号炉	ppm	100ppm以下	20.7	25.9	25.7	26.8	27.2	20.9	28.7	22.2	35.2	28.6	20.6	20.2	25.2
	2号炉	ppm		19.5	22.2	23.4	26.4	24.0	21.8	21.6	26.7	31.8	29.0	19.7	20.4	23.9
備考		測定結果数値は毎日の連続測定、記録による全ての日平均値の月平均値														

測定位置：\*1焼却室出口 \*2集塵機入口 \*3集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

### 【用語解説】

ppm(パーツ・パー・ミリオン)は、100万分のいくらかであるかという割合を示す単位。主に濃度を表すために用いられる。「parts per million」の頭文字をとったもので、100万分の1の意。

## 3 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばい塵の除去を行った年月日

区分	1号炉	2号炉
冷却設備(ガス冷却室)	平成27年7月実施	平成27年7月実施
排ガス処理設備(集塵機)	平成27年7月実施	平成27年7月実施

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉	2号炉
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成27年7月8日	平成27年9月10日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成27年8月4日	平成27年10月9日
ダイオキシン類濃度	10	5	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.28	0.13

採取位置：集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

### 【用語解説】

1ng(ナノグラム)…10億分の1グラム

TEQ…ダイオキシン類の量を、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾパラジオキシン類の毒性等量に換算した量として表した符号

m<sup>3</sup>N(立方メートルノルマル)…気温0°C、気圧が1気圧の状態に換算した気体の体積

## 5 ばい煙量又はばい煙濃度(1回/6ヶ月以上測定)

区分	法定基準値	管理基準値	単位	1号炉		2号炉	
				1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスの採取年月日	/	/	/	平成27年5月11日	平成27年10月20日	平成27年8月6日	平成28年2月15日
結果の得られた年月日	/	/	/	平成27年5月15日	平成27年10月26日	平成27年8月12日	平成28年2月24日
ばい煙濃度	0.15	0.02	g/m <sup>3</sup> N	0.001	0.001	0.002	0.002
硫酸化物の量	K値17.5	50※	ppm	19	19	19	19
窒素酸化物濃度	250	200	ppm	52	31	54	29
塩化水素濃度	700	100	mg/m <sup>3</sup> N	77	77	77	77

採取位置：集塵機出口 別紙「コスモスクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所」参照のこと

※硫酸化物の基準値は、K値規制(地域規制)が総量規制のため、排出ガス温度、排出ガス量及び排出ガス流速により変化するため、管理基準値にはppm(濃度)を用いる。

コスモクリーンセンター焼却施設維持管理状況測定場所



中央制御室

燃焼室中燃焼ガス  
温度測定位置

ワンルームコントロール  
方式で燃焼管理はもちろ  
ん、設備の監視、運  
転、操作を行います。

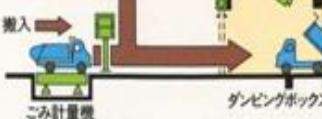


クレーン操作室



プラットホーム

出入口扉はエアカー  
テンと連動し、投入扉  
はクレーン操作室から  
の指示によるインター  
ロック装置付。

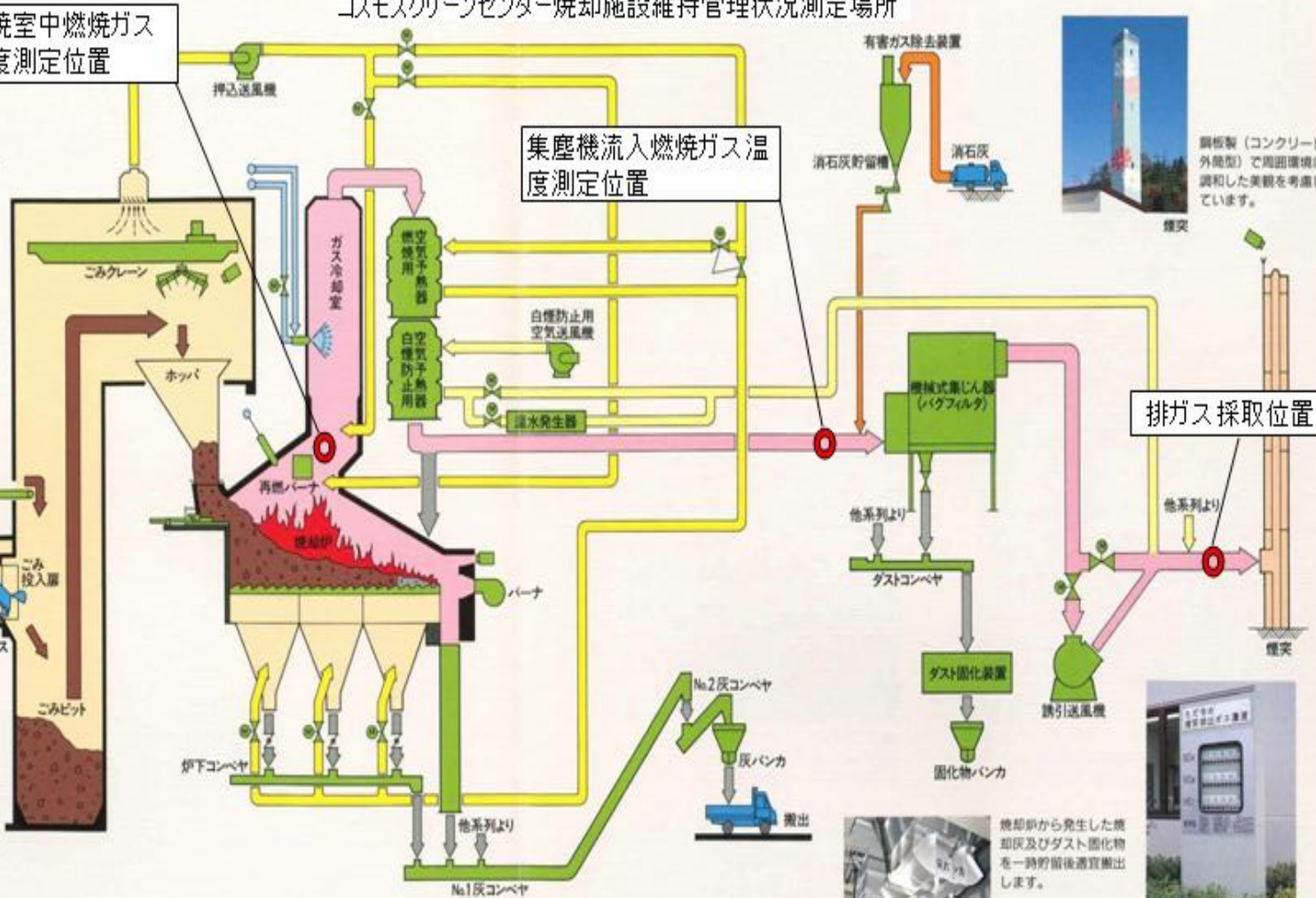


ごみ計量機



ごみ計量機  
制御室

収集車で収集されたごみは、ごみ計量機で搬入量  
が自動的に計量され記録及び記憶されます。



集塵機流入燃焼ガス  
温度測定位置

排ガス採取位置



鋼板製（コンクリート  
外殻型）で周囲環境に  
調和した美観を考慮し  
ています。

煙突



灰バンカ・固化物バンカ

焼却炉から発生した焼  
却灰及びダスト固化物  
を一時的貯留後適宜搬出  
します。



排ガス監視盤

煙突から排出される排ガス  
に含まれるSOx、NOx、  
Hclの濃度を表示します。

煙突